

Design the Future



2013年3月期
決算説明会

DAICEL
株式会社ダイセル

2013年5月13日

目次

2013年3月期 業績	P 3 ~ P 7
2014年3月期 見通し	P 8 ~ P 11
セグメント情報	P 12 ~ P 16
3D-I 中期計画 取り組み状況	P 17 ~ P 30
設備投資額推移	P 31
減価償却費推移	P 32
連結貸借対照表	P 33
(参考) 2014年3月期業績予想(対前年)	P 34

Design the Future



2013年3月期 業績

業績概要

単位：億円

	2012/3	2013/3	増減	増減率
売上高	3,419	3,585	+166	+4.8%
営業利益	204	262	+58	+28.2%
経常利益	211	286	+75	+35.5%
当期純利益	118	154	+35	+30.0%

為替レート	79円/\$	82円/\$
-------	--------	--------

連結損益計算書

単位：億円

	2012/3	2013/3	増減	備考
売上高	3,419	3,585	+166	数量差 +96 単価差 +70(為替 +53)
売上総利益	707	809	+101	
販売費及び 一般管理費	503	547	+44	
営業利益	204	262	+58	数量影響 +58 その他△24 価格影響 +24(為替 +10)
営業外損益	7	24	+17	為替損益改善 +10
経常利益	211	286	+75	
特別損益	△ 11	△ 33	△ 22	
税金等調整前 当期純利益	200	253	+53	
法人税等、 少数株主利益	81	99	+18	
当期純利益	118	154	+35	
為替	79円	82円		

当期の期末配当：1株につき7円

当期の年間配当：1株につき12円
(2円増配)

	‘11/3	‘12/3	‘13/3
株主還元性向	21.2%	45.2%	27.5%

株主還元性向 30%を目標にしています

※ 株主還元性向 = (配当額 + 自己株式取得額) ÷ 連結純利益

売上高・営業利益分析

【売上高】

単位：億円


	2012/3	2013/3	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	721	745	+24	△35	+59
有機合成	765	715	△50	△31	△19
合成樹脂	1,336	1,402	+67	+39	+27
火工品	532	660	+128	+125	+3
その他	66	64	△2	△2	
合 計	3,419	3,585	+166	+96	+70

【営業利益】

単位：億円

	2012/3	2013/3	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	78	136	+59	△15	+32	+42
有機合成	54	53	△1	+8	△23	+14
合成樹脂	99	112	+13	+19	+21	△27
火工品	50	41	△9	+49	△7	△51
その他	10	8	△2	△2	0	0
全 社	△86	△87	△2	0	0	△2
合 計	205	262	+57	+58	+24	△24

Design the Future



**2014年3月期
業績見通し**

前提条件

		2013/3		2014/3	
		上期実績	下期実績	上期計画	下期計画
為替レート		80円/\$	85円/\$	95円/\$	95円/\$
	メタノール (アジアスポット価格)	\$376	\$370	\$380	\$380
	原油 (ドバイ)	\$106	\$108	\$110	\$110
	国産ナフサ	55,000円	59,600円	60,000円	60,000円

2014年3月期業績見通し

単位：億円

	2013/3 実績	2014/3 見通し	増減	増減率
売上高	3,585	4,050	+465	+13.0%
営業利益	262	350	+88	+33.6%
経常利益	286	360	+74	+26.0%
当期純利益	154	200	+46	+30.1%

為替レート	82円/\$	95円/\$
-------	--------	--------

売上高・営業利益の推移と見通し

(単位：億円)



Design the Future



セグメント情報

セルロース事業 セグメント

売上高 +24億円

為替影響 +14億円

◆ 酢酸セルロース：

液晶表示向けフィルム用途の需要が、薄型テレビの販売低迷の影響を受け、減収

◆ たばこフィルター用アセテート・トウ：

フル製造・フル販売が続き、販売数量は前年並み。

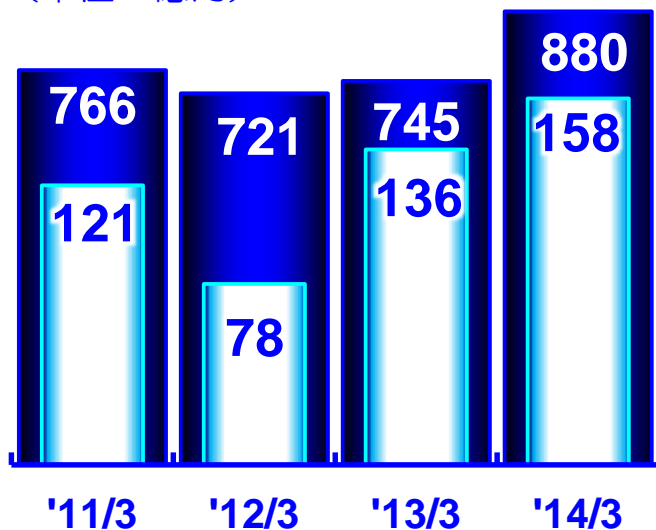
原燃料高に伴う販売価格是正や、4Qの円安効果もあって、増収。

営業利益 +59億円

販売価格是正と減価償却費の減少などにより増益

(単位：億円)

見通し



2014年3月期 見通し

◆ 酢酸セルロース

TAC：フィルムの薄膜化や

他素材との競争激化などもあり

販売数量 微減

◆ アセテート・トウ

✓ 三菱レイヨンとのJVスタート

✓ 大竹工場・網干工場での増強分が、

7月から稼働し、販売数量 増

有機合成事業 セグメント

売上高

△50億円

為替影響 +6億円

- ◆ **酢酸**：PTA向けの海外需要が堅調で販売数量が増加したが、市況の悪化などもあり、微増収
- ◆ **酢酸誘導品等汎用品および有機機能品**：
酢酸エチルの販売は増加したが、
海外での需要不振(特に電材向け需要の停滞)の影響で、減収
- ◆ **CPI**：中国や欧州向けのカラム販売は好調だったが、受託分離の受注減などにより、減収

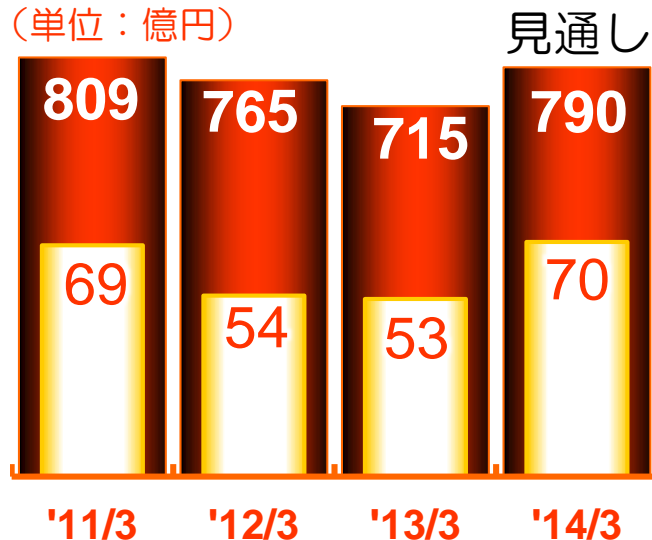
営業利益

△ 0.8億円

減価償却費が減少したが、

販売価格の下落などにより、微減益

(単位：億円)



2014年 3月期 見通し

自動車向けを中心とした

製品需要の緩やかな回復や

円高の緩和による輸出環境の改善により

販売数量 増

合成樹脂事業 セグメント

売上高 +67億円

為替影響 +19億円

◆ ポリプラスチック（12月決算）：+ 68億円

中国における日本車の不買運動や円高の影響を受けたが、自動車生産回復による販売数量の増加や原燃料高に対応した販売価格の是正が進み、増収

◆ ダイセルポリマー：△ 2億円

自動車部品向けなどが堅調に推移したが、電機・電子材料向けの需要が低迷

営業利益 + 13億円

数量増や販売価格是正により増益



2014年3月期 見通し

- ◆ **ポリプラスチック**
自動車向けを中心に販売数量 増
- ◆ **ダイセルポリマー**
上海、香港の拠点で販売 増

火工品事業 セグメント

売上高 +128億円

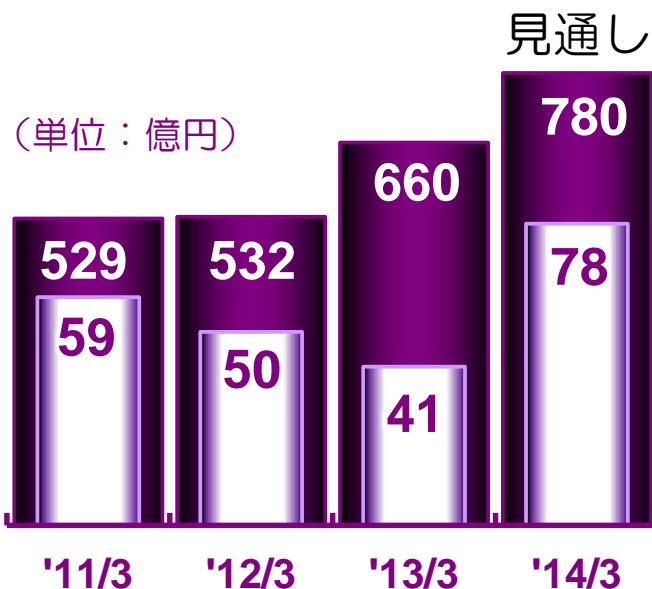
為替影響 +13億円

◆ インフレーター事業：売上高は大幅増

- ✓ エアバッグ用インフレーターは、自動車生産台数の回復により、販売数量が大幅増
4,700万個 ⇒ 5,400万個 (+700万個)
- ✓ イニシエータの製造販売会社である米国SDI社を買収し、新規連結

営業利益 △ 9億円

中国の日本車不買運動や米国での急激な需要拡大に対応する経費の増加、SDI社取得費用などにより、減益



2014年3月期 見通し

◆ インフレーター：販売数量 大幅増の見通し

- ✓ 自動車生産台数の増加
- ✓ 拡販による新規受注

2013年度 6,200万個 (+800万個)

- ✓ 米国子会社の収益改善

Design the Future

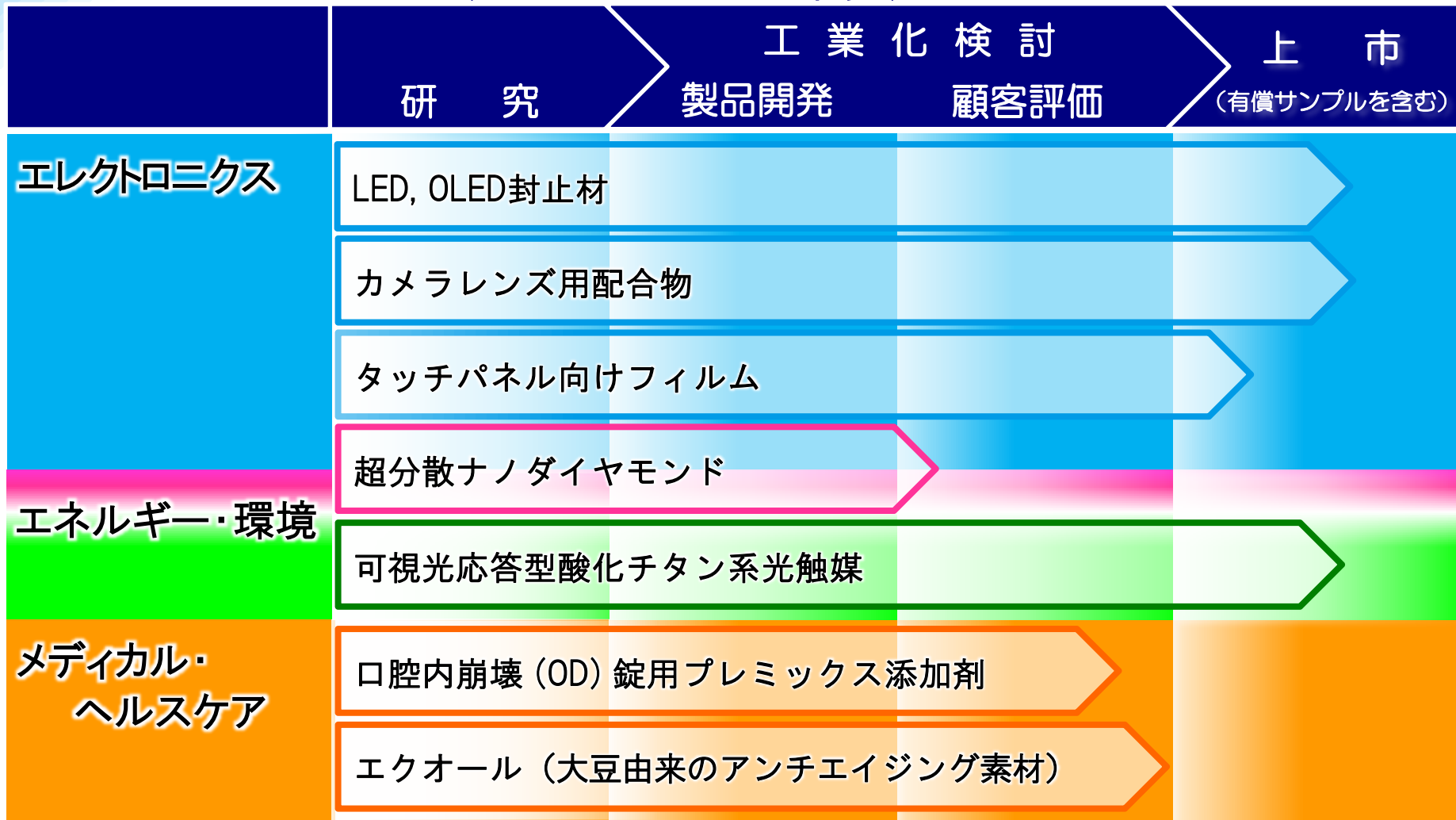


**3D-I 中期計画
取り組み状況**

新事業創出に向けた取り組み

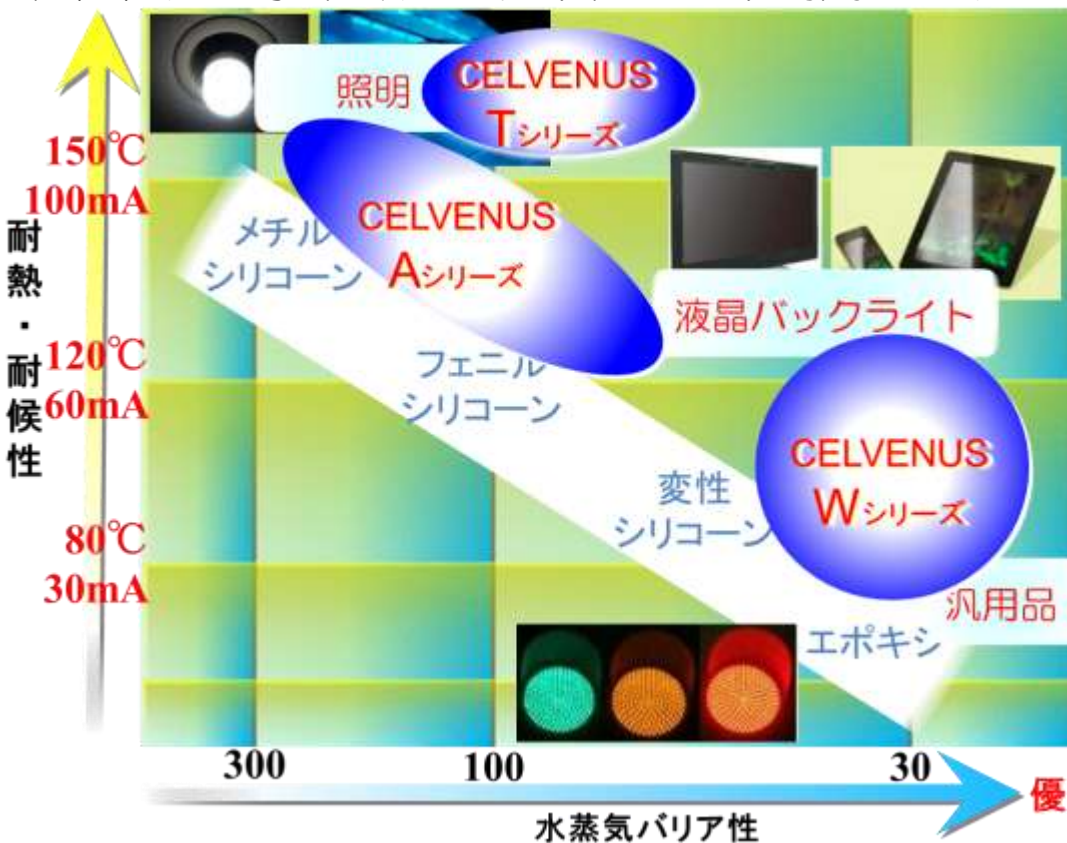
ターゲット領域：

エレクトロニクス、エネルギー・環境、メディカル・ヘルスケア



LED封止材 CELVENUS®

新井工場の試験製造プラントが本年6月から稼動
 原材料から封止材までの一貫した開発により、
 新たな要求機能にも対応
 有機機能品事業部門で、本格的な市場開拓に取り組む



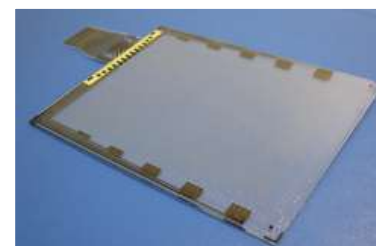
カメラレンズ用配合物

UV・熱硬化透明材料
 CELVENUS® Oシリーズを上市



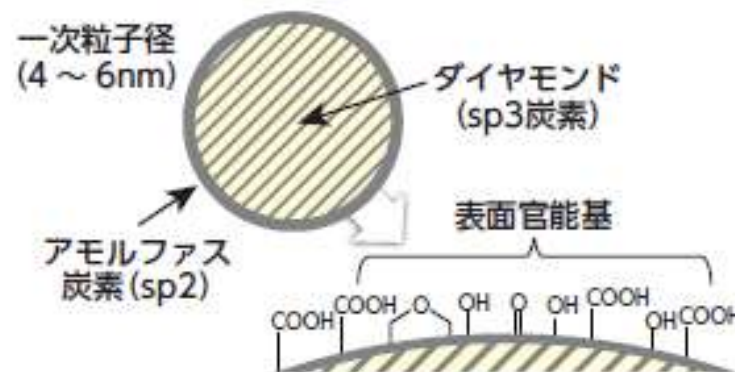
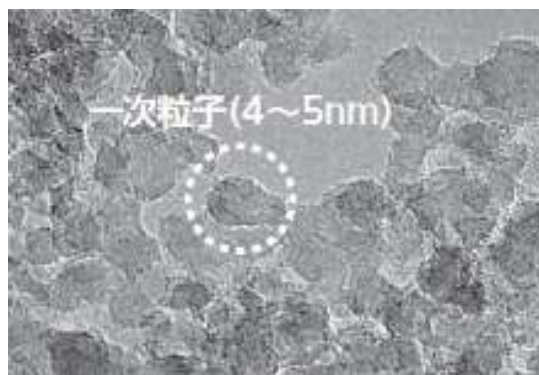
タッチパネル向けフィルム

当社グループの
 素材・技術を生かした
 新規機能性フィルムを開発／上市



■ 超分散ナノダイヤモンド (UDD)

- ◆ UDDの国内一貫生産とアプリケーションに応じた製品開発を進める
- ◆ 播磨工場にUDDを生成する爆射試験設備を設置予定 (2013年度)

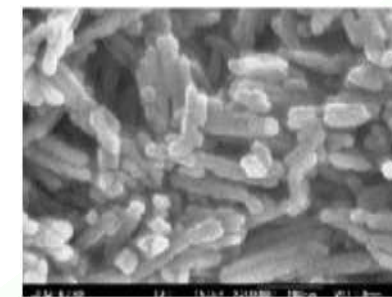
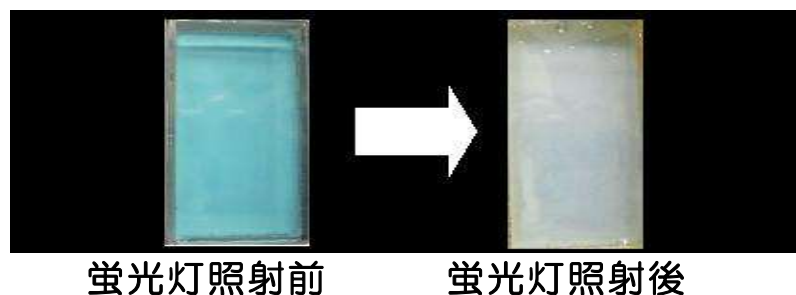


■ 可視光応答型酸化チタン系光触媒 CelMuse®

- ◆ ダイセルファインケムに移管し、本格的なマーケティング活動を開始
- ◆ 生産設備を総合研究所から新井工場に移設、増強の予定 (2013年度)

高い酸化能力で
有機物を分解

JIS1703-2法に
準拠した評価法



■ 口腔内崩壊（OD）錠用プレミックス添加剤

水無しで安全・便利に服用可能な口腔内崩壊錠（OD錠）用が開発された、賦形剤と崩壊剤の機能を併せ持つ医薬添加剤



- 現在、国内製薬企業で採用を前提とした評価ステージ
- 2014年に上市医薬品の添加剤としての販売をめざす

■ エクオール（大豆由来のアンチエイジング素材） **フラボセル®**

ダイセルが長年培った微生物バイオ技術を用い量産化

顧客へのサンプル提供を開始、

有効性が確認され始めており

2013年中の商品化をめざす



セグメント別 取り組み状況

- ①コア事業のさらなる強化 ②グローバル展開の拡大・強化 ③コスト競争力の強化
④ビジネスパートナーとの連携強化 ⑤戦略的M&A活用 ⑥基盤の強化

①	②	③	④	⑤	⑥	施策／取り組み
●		●	●	●		セルロース 三菱レイヨンとのアセテート・トウ製造の合併会社設立
●		●				セルロース アセテート・トウ:大竹工場増設 / 網干工場能力増強(2013年7月稼働予定)
	●		●			セルロース 中国JVにおけるアセテート・トウ製造能力の増強
●						有機合成 2011年11月:酢酸エチル能力増強
	●					有機合成 2013年3月:Daicel Chiral Technologies (China) Co., Ltd. 移転・拡張
	●					合成樹脂 2011年9月:韓国ソウルに Polyplastics Korea Ltd. を設立
●	●					合成樹脂 2012年1月:Polyplastics Taiwan Co., Ltd. コンパウンド能力増強
●	●					合成樹脂 2012年3月:コンパウンドの宝理塑料(南通)有限公司を設立(2013年秋操業開始予定)
	●					合成樹脂 2012年4月:タイに Daicel Polymer (Thailand) Co.,Ltd. を設立
	●					合成樹脂 2012年4月:米国ミシガン州に Polyplastics USA, Inc. を設立
		●	●	●		合成樹脂 2012年4月:高発泡プラスチック事業の合併会社 DMノバフォームを発足
●		●		●		合成樹脂 2012年8月:LCP原料 p-HBAの専門メーカー独ロイナ社を買収
●		●				合成樹脂 2012年10月:長繊維強化樹脂製造設備を広畑工場に移設、増産
	●					合成樹脂 2012年11月:ドイツ・フランクフルトにPolyplastics Europe GmbHを設立
●	●	●				合成樹脂 マレーシア Polyplastics Asia Pacific Sdn. Bhd. に、 ポリアセタール重合設備(90,000t/y)新設(2014年初 商業運転開始予定)
●	●					火工品 2011年11月:韓国にDaicel Safety Systems Korea, Inc.を設立(2013年12月操業開始予定)
●	●	●		●		火工品 2012年4月:イニシエータ製造のSpecial Devices, Inc.を買収
		●			●	2012年9月:網干工場に都市ガス・コジェネレーション設備導入
					●	2013年3月:教育訓練センターをリニューアル

たばこフィルター用アセテート・トウ事業の強化

富山フィルタートウ株式会社 スタート

- 2012年10月1日、三菱レイヨン社がアセテート・トウ製造部門を分社して設立
- 2013年5月1日、当社が発行済み株式の35%を取得し、合併会社化

大竹工場 増設



網干工場 能力増強



2013年7月稼動開始
製造能力 約1割増

アセテート
トウ

中国JVの枠組みで アセテート・トウ製造能力の増強を推進

西安恵大化学工業有限公司



第Ⅰ期



第Ⅱ期

西安大安化学工業有限公司
(寧波大安化学100%出資)

寧波大安化学工業有限公司



アセテート
フレーク

有機合成品事業 エタノール・チェーンの拡大強化

2011年11月、大竹工場の酢酸エチル製造能力を50%増強



有機機能品事業

機能材料の開発加速、量産化技術確立のための基盤整備

新井工場：試験製造設備を設置
品質保証体制を整備

半導体レジスト材料やLED封止材など
電子材料分野をターゲットとした
機能材料の開発加速、量産化技術確立へ



試験製造設備



CP | 事業 2013年4月、中国上海 現地法人を移転

新施設でカラム販売、受託分離に加え、キラル試薬の販売など事業を拡大

周辺ビジネスへの展開
New Analytical Service

分析法の確立や妥当性確認(バリデーション)等の
分析支援サービス **“New Analytical Service”**を
インドの現地法人で開始

合成樹脂事業セグメント

Polyplastics グローバルでの事業展開の拡大・強化と事業基盤の強化

2012年 8月 子会社化
LCP Leuna Carboxylation Plant GmbH

2011年 9月設立
Polyplastics Korea Ltd.

2012年 4月設立
Polyplastics USA, Inc.

2012年11月設立
Polyplastics Europe GmbH

○ **Polyplastics**

2012年 3月：
●コンパウンドの宝理塑料(南通)有限公司 設立
(2013年10月 操業開始予定)

2012年 1月：
●Polyplastics Taiwan Co., Ltd.
コンパウンド能力増強

●マレーシア Polyplastics Asia Pacific Sdn. Bhd. に、POM重合設備(90,000t/y)新設
(2014年初 商業運転開始予定)

New Resin Creator
ダイセルポリマー

2012年 4月：タイに Daicel Polymer (Thailand) Co.,Ltd. を設立
2012年10月：長繊維強化樹脂製造設備を広畑工場に移設、増産

インフレーター事業の基盤強化

DSSE

DSSK

DSSC

DSS

SDI

DSSA

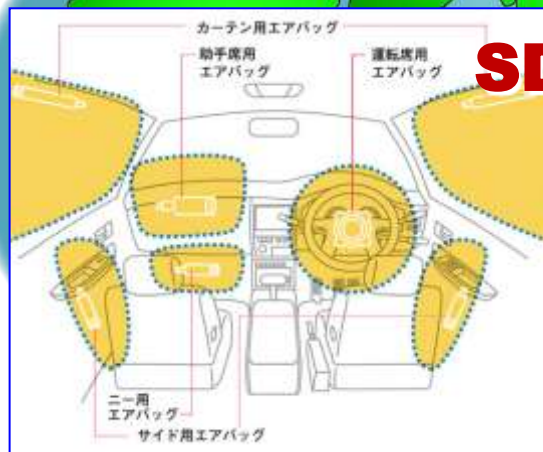
DSTA

DSTP

SDT

DSST

DSTT



Daicel Safety Systems Korea, Inc.

2011年11月 設立、2013年12月 操業開始予定

Special Devices, Inc.

2012年4月 買収、イニシエータ製造能力拡大
生産・開発・販売でのシナジー追求

網干工場 都市ガス・コージェネレーション設備 導入 2012年9月から CHP(熱電併給)プラントの運用開始

原動機には、世界最高効率の高効率発電用ガスタービンを導入
網干工場で100%の電力自給が可能に

川崎重工業(株)新規開発の
30MW級高効率発電用ガスタービン



発電効率：約36%

コージェネ総合熱効率：約86%



Gas turbine generation system package

CHP: Combined Heat and Power

教育訓練センター（TRC）リニューアル

2013年3月

知的統合生産システムの運転手法や
全社共通のオペレーション技術の習得を目的として
2002年に設立した教育訓練センター（TRC）をリニューアル

基本に始まり、基本に戻る

今後のダイセルのモノづくりを支える「人」をしっかりと育成



新TRC: New Operation Training Center

より機能的に教育訓練できる施設

- 研修室
- 操作室
- 実習室
- 危険体感教育設備
- 小規模テストプラント

より高い安全性を兼ね備えた 化学プラントへ

安全操業、製品安全・品質確保を最重要課題として

Develop New Values 3D - II 中期計画 (2014~2016年)

3D - I 中期計画 (2011~2013年) **Design the Future**

中期計画「3D - I」の基本戦略を着実に遂行

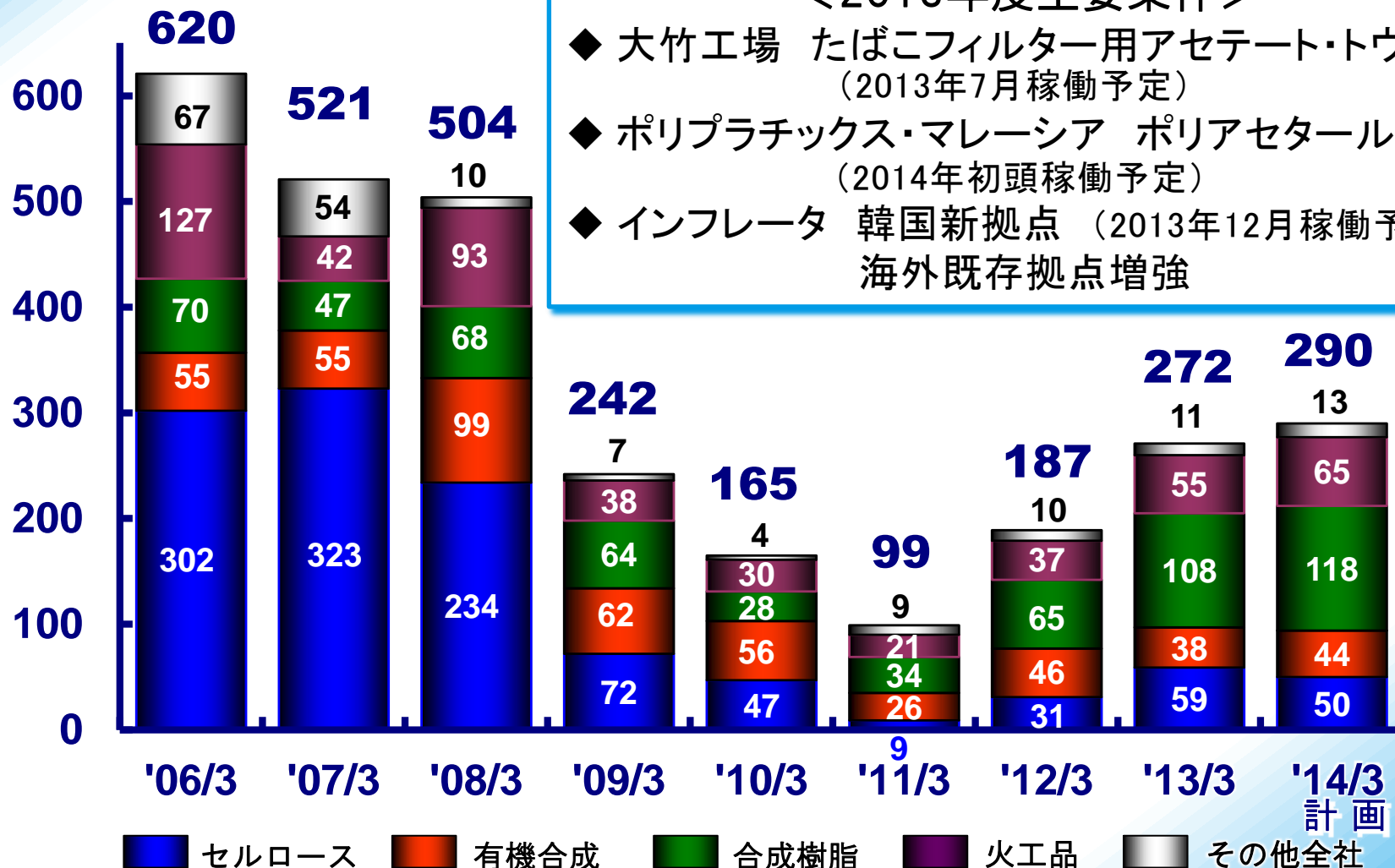
- ◆ 新規事業の創出
- ◆ コア事業のさらなる強化
- ◆ グローバルでの事業展開の拡大・強化
- ◆ コスト競争力の強化
- ◆ ビジネスパートナーとの連携強化
- ◆ 戦略的M&A活用
- ◆ 基盤の強化

設備投資額推移

(単位：億円)

<2013年度主要案件>

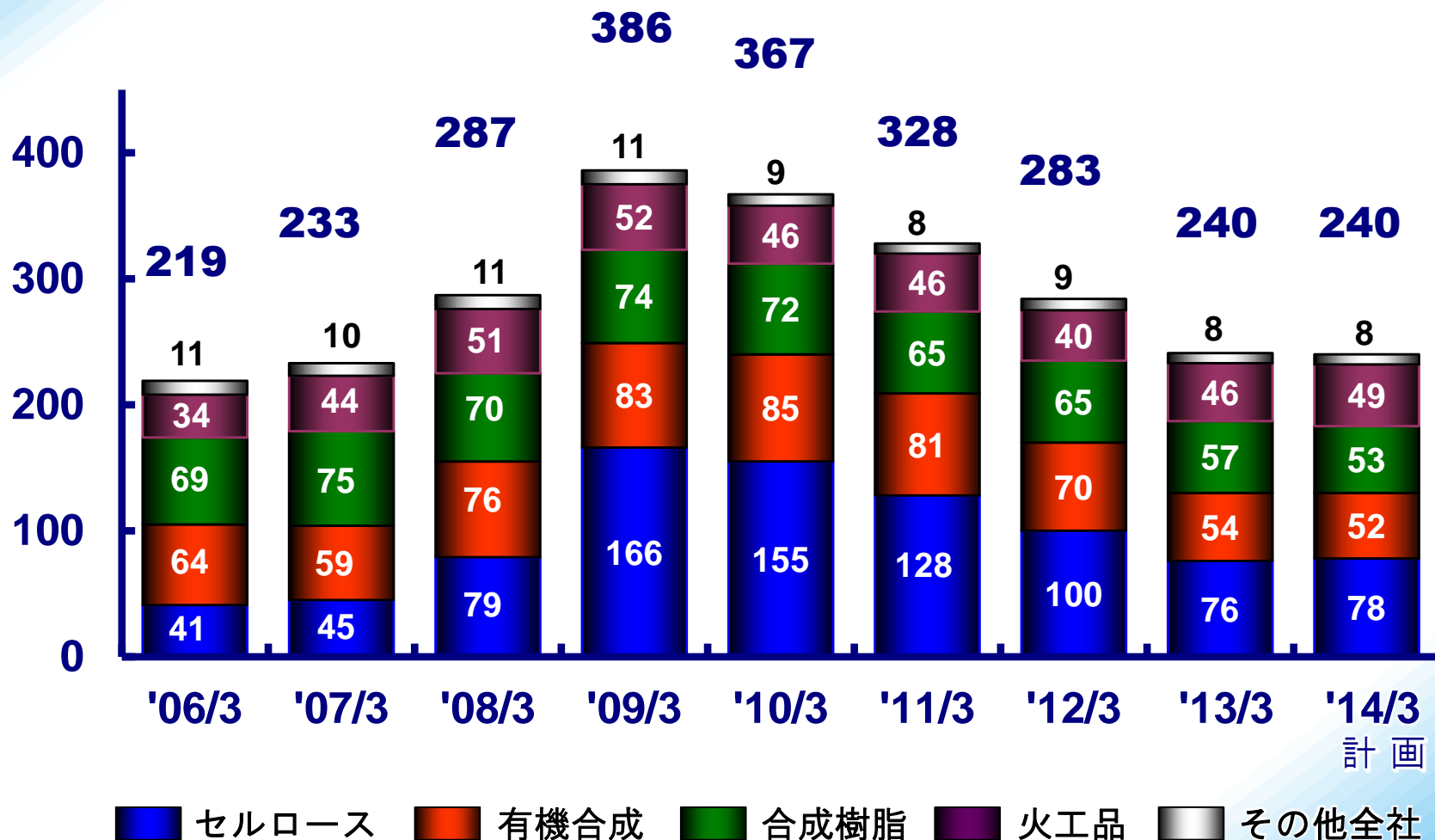
- ◆ 大竹工場 たばこフィルター用アセテート・トウ増設
(2013年7月稼働予定)
- ◆ ポリプラチックス・マレーシア ポリアセタール増設
(2014年初頭稼働予定)
- ◆ インフレーター 韓国新拠点 (2013年12月稼働予定)
海外既存拠点増強



(注) 新規連結に伴う増加額は含んでおりません。

減価償却費推移

(単位：億円)



(注) のれんの償却額は含んでおりません。

連結貸借対照表

単位：億円

	2012年 3月末	2013年 3月末	増減	備 考
流動資産	1,972	2,322	+350	
現預金及び有価証券	356	547	+192	
受取手形及び売掛金	767	770	+3	
棚卸資産	711	830	+118	隔年、網干定期修繕向け在庫積増し
その他	138	175	+37	
固定資産	2,010	2,293	+283	
有形固定資産	1,392	1,493	+101	取得260、新規連結20、償却 △228
無形固定資産	24	136	+112	新規連結101
投資その他資産	594	664	+70	投資有価証券49(時価評価額増)
資産合計	3,982	4,615	+633	
負債	1,635	1,986	+351	
有利子負債	832	992	+160	有利子負債比率 21.5%
その他	802	994	+192	
純資産	2,347	2,629	+282	自己資本比率 52.2%
負債純資産 合計	3,982	4,615	+633	

(参考) 2014年3月期業績予想(対前年)

(単位：億円)

	2013/3				2014/3				年間増減
	1Q実績	上期実績	下期実績	合計	1Q予想	上期予想	下期予想	合計	
売上高	880	1,773	1,812	3,585	945	1,960	2,090	4,050	465
セルロース	186	363	382	745	209	430	450	880	135
有機合成	184	357	358	715	186	381	409	790	75
合成樹脂	343	704	698	1,402	355	740	790	1,530	128
火工品	154	319	340	660	180	375	405	780	120
その他	13	30	34	64	15	34	36	70	7
営業利益	65	136	126	262	65	160	190	350	88
セルロース	34	67	69	136	37	79	79	158	22
有機合成	13	24	28	53	9	28	42	70	17
合成樹脂	28	62	49	112	26	63	63	126	14
火工品	10	22	19	41	15	33	45	78	37
その他	1	4	4	8	0	2	4	6	△2
全社	△22	△44	△44	△87	△22	△45	△43	△88	△1
経常利益	66	137	148	286	72	165	195	360	74
当期純利益	38	72	82	154	50	95	105	200	46

為替の実績及び想定 80 円/\$ 80 円/\$ 85 円/\$ 82 円/\$ 95 円/\$ 95 円/\$ 95 円/\$ 95 円/\$

予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料により何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものではありませんが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は、株式会社ダイセルに帰属します。
いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。





DAICEL

The Best Solution for You